Press Release
報道関係各位

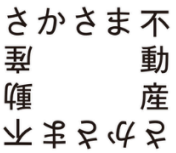
情報解禁日：2026年11月13日10:00
株式会社On-Co

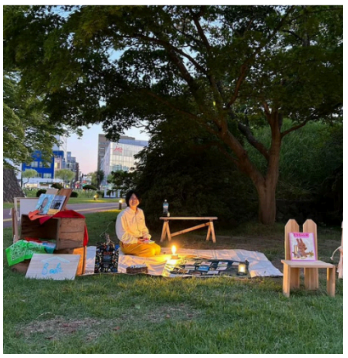
貸したい相手を、大家が選ぶ

# 「さかさま不動産」鳥取県八頭町で43軒目の成約

## ～空き家バンクとの連携で、移住者の挑戦と空き家活用をつなぐ～







株式会社On-Co（本社：三重県桑名市、代表：水谷岳史）が展開する「さかさま不動産」において、43軒目となるマッチングが鳥取県八頭町で成立しました。

今回マッチングしたのは、全国各地を移り住んだ末に鳥取県を定住の地に選び、私設図書館のあるシェアハウス開設を目指すエンジニアと、親族から元司法書士事務所の物件を受け継いだ大家です。

両者をつないだのは、八頭町で空き家バンクと「さかさま不動産八頭支局」を運営する一般社団法人Yearning for Yazu Project（YYP）。空き家所有者からの相談と、借り手の「やりたいこと」を結びつけました。

### 空き家を「人と地域をつなぐ接点」に　ーさかさま不動産ー

政府は、居住地以外の地域に継続的に関わる人を可視化し、地域の担い手確保や活性化につなげる「ふるさと住民登録制度」の創設を進めています。2026年3月には制度開始に向けた実証を進めるなど、地域への多様な関わり方を後押しする動きが具体化しています。

一方、人口減少や空き家の増加が進む地域では、移住や創業に挑戦したい人がいても、所有者の意向などから物件が流通せず、結びつかないケースがあります。こうした中、空き家は単なる不動産ではなく、移住や創業、地域活動の拠点として「人と地域をつなぐ接点」となる可能性を持っています。

On-Coは2020年より、借り手の「やりたいこと」を公開し、共感した大家が借り手を選ぶ「さかさま不動産」を展開しています。「誰に貸すかを大切にしたい」という所有者の想いに寄り添い、借り手の人柄や活用目的を事前に伝えることで、所有者が納得して物件を託せる仕組みです。これにより、一般の不動産市場に出てこなかった空き家の活用を生み出し、移住や創業など、地域での新たな挑戦につなげてきました。

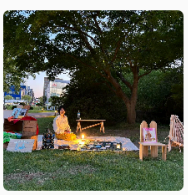
### 借り手：全国を移り住み、定住の地に選んだ鳥取で私設図書館を

借り手は、エンジニアの冠さん（31歳）。「いろんな土地で暮らしてみたい」という想いから、北海道・栃木・佐賀・秋田などを約2年ごとに移り住んでいました。

各地での暮らしを経て、鳥取の海沿いの景色に魅了され、2025年末に鳥取市へ移住。シェアハウスで暮らしながら、長年温めてきた「漫画と本の私設図書館を併設したシェアハウス兼民泊をつくりたい」という構想を実現するため、鳥取市近辺の物件を探し始めました。長年温めてきた「漫画と本の私設図書館を併設したシェアハウス兼民泊をつくりたい」という構想の実現に向けて物件を探し、さかさま不動産にも自身の想いを掲載していました。

さかさま不動産掲載記事：
https://sakasama-fudosan.com/lessee/library-share-house/

**漫画×本の私設図書館のあるシェアハウス民泊を作りたい！**



**冠 花(かんむり はな)**

漫画と本と人間が好きで、図書館・漫画喫茶・シェアハウスを融合した私設施設をつくりたいと考えています。大阪出身ですが全国を転々とし、今は鳥取でRPAエンジニアとして働いています。

## 大家：活用未定の空き家。「地域のために使ってもらえるのが、うれしい」

大家（61歳）は、親族から受け継いだ元司法書士事務所だった物件（築約50年）を約3年間空き家にしていました。事務所時代の書類や備品が残り、すぐに貸し出せる状態ではなかったものの、整理を進める中で「そろそろ空き家を貸したい」とYYPに相談。それまで物件情報を公開したことはなく、具体的な活用方法も決まっていませんでした。

そんな中で冠さんの構想を知り、大切な建物を託す相手として安心感を持てたといいます。「ただ住むだけでなく、地域のために使ってもらえるのがうれしい」と大家は話しています。

## 空き家バンクとさかさま不動産の連携。地域を知る支局が双方をつなぐ

今回のマッチングを支えたのは、2025年12月に開局した「さかさま不動産 八頭支局」です。運営するYYPは、八頭町の空き家バンクと移住定住センターの業務を受託しており、空き家所有者と移住希望者の双方から相談を受けています。

代表の山邉氏は、大家から空き家の相談を受けた際にさかさま不動産に掲載されていた冠さんの構想を思い出し、「この物件なら合うのでは」と紹介。2026年5月頃に内覧が実現し、その後も双方の意向を確認しながら話し合いを支え、9月の成約につながりました。

冠さんにとっては、構想に合った物件の紹介に加え、改修業者探しについても相談できたこと、また近隣挨拶にも同行して地域との接点づくりを支えてくれたことが、新たな挑戦の後押しとなりました。大家にとっても、借り手の目的が見え、地域を知るYYPが関わることが安心材料となりました。空き家バンクが把握する所有者の相談と、さかさま不動産が可視化する借り手の想いを、地域の支局が結びつけたことが今回の特徴です。

## 物件を貸すだけでなく、挑戦を見守り支える大家の存在

成約後も大家は冠さんの構想や人柄を面白がり、暮らしや事業準備に親身に関わっています。建物に残されていた品物の中から冠さんが気に入りそうなものを見つけて声をかけたり、片付けが終わらないまま入居した冠さんを心配して仮住まいを提案したりする場面もありました。

また、冠さんが地域の方へ挨拶に出向いた際、相手がご多忙でなかなか会えないと知ると、大家が「連絡しておくよ」と声をかけ、地域との関係づくりを後押ししてくれたことも。

現在、冠さんは地域の事業者とともに改修を進め、まずは子どもたちも気軽に利用できる私設図書館の年度内開業を目指しています。

物件の貸し借りにとどまらず、地域で新たな挑戦を支え合う関係へと発展しています。

## 今後の展開

今回の事例は、借り手の想いを可視化することで、これまで流通していなかった空き家の活用につながり、移住者と地域の関係づくりにも広がったものです。

現在は、この仕組みを応用し、実店舗を探す人が出店して自身の事業や構想を発信する「さかさマルシェ」を自治体と連携して展開。2026年度は茨城県常総市に加え、愛知県豊田市・刈谷市、広島県呉市、神奈川県横須賀市での開催を予定しています。

今後も全国の支局や自治体との連携を深め、人を起点とした空き家活用と地域での挑戦をつなげてまいります。

## さかさま不動産 八頭支局について

運営：一般社団法人Yearning for Yazu Project
代表理事：山邉裕司｜設立：2022年11月｜所在地：〒680-0526 鳥取県八頭郡八頭町日下部1228-1
HP：https://yazukanko.jp/seeing_play/composite-facilities/yyp/
増加する空き家や人口減少に取り組み「八頭町を憧れてもらえるまちに」と、有志が集まり設立。メンバーは、農家、公務員、移住者などそれぞれのバックグラウンドを活かしながら活動中。2023年度より八頭町の空き家バンク業務と移住定住センター業務を受託し、独自にサブリース事業も展開。2025年12月にさかさま不動産八頭支局を開設。

## 株式会社On-Co

代表：水谷岳史｜設立：2019年3月｜本社：三重県桑名市西別所1375｜拠点：名古屋市西区新道1丁目13-15昭和ビル｜HP：https://on-co.jp/ ｜ミッションは「まだない未来をつくる」。強みは社会に必要と感じた概念を具現化させること。さかさま不動産や上回転研究所、丘漁師組合、マダナサソウなどを展開している。

本件に関するお問い合わせ

窓口：武田　　TEL：080-5984-7800　　mail：support@on-co.co